

◆パネルディスカッション
 始めに今回のプロジェクトリーダー栗盛氏より「シンボ開催の経緯について」の説明があった。(内容は9ページのコラム参照)



鳳鳴野球部の現状と対応を語るパネルディスカッション

菊地: まず「現在の秋田県高校野球界の現状」について。
監督: 相変わらず中央の秋田商、秋田高へ金足農、明生高の4校が中心だが、その勢力図は次第に平準化。簡単に言えばどの高校も甲子園へのチャンスはあると云える。
菊地: 秋田県の甲子園出場が能代止まり、いわゆる「きみまち坂」を越えないのは何故だろうか。
理事長: これは特に意味が無い。能代以北に無いのは単なる偶然。高校野球はベテランの監督の引退が多く30代、40代の監督に代わりしている。現在の鳳鳴の監督も31歳の新進気鋭。秋田高校時代に2度も甲子園出場している実力派である。

菊地: 鳳鳴高校野球部の現状は。
監督: 昨年は非常に残念な年だった。久しぶりに夏の甲子園秋田県予選でベスト4まで勝ち進み、優勝候補秋田高校と互角に渡り合い7対8で逆転敗退。まさに残念の一語に尽きる戦績であった。
理事長: 昨年のベスト4進出は、監督の手腕と選手の精神力と技術の進歩の証明であり、今後の甲子園出場の足がかりとなる歴史的な年と言って良い。

監督: 現在の鳳鳴高校野球部は県北では雄であり地域大会では胸を張って行進するが、中央へ行くとき堂々たる態度がとれなくなる傾向がある。技術も勿論大切だが精神面の強化も欠かせない課題である。
菊地: 鳳鳴高校野球部「甲子園出場」のための条件とは。

監督: 先ず、物心両面の充実が必要である。強くなるためには強いチームとの練習試合を重ねる実践強化が必要だがそのための遠征費用負担が頭の痛い問題である。その意味でも今回の東京鳳鳴会の支援は有り難い事である。
理事長: 昨年のベスト4進出の場合には資金が集められた。
監督: 学校と専用グラウンドが離れているのが問題。室内練習場も学校外なので練習が効率よく出来ない環境である。
理事長: 選手の中で自動車通学もいるが野球部員の下宿をさせるところが見当たらない。

菊地: 部員の「技術力と精神力」の問題についてはどうか。
監督: 技術力はトレーニングによって向上させる事が出来る。問題なのは精神面の鍛錬である。
菊地: 支援体制の問題はどうなっているのか。
理事長: 後援会とOB会は別組織。これを一本化する事も考えている。
菊地: 「野球部後援会、OB会及び選手父母の会」を柱に大館市一体となった町興しのための熱い支援体制が出来ないか。一般市民や法人に何かの方法で寄付を呼びかけることもあるのでは。
理事長: 自分の過去の経験からすると寄付は、責任ある立場の人が直接歩いて依頼すれば、必ず支援してくれる。これは経験則から見ても間違いないので、実行していきたい。
監督: 自分の母校の秋田高校でも資金面は潤沢ではないが、甲子園に行くことによって寄付が大きく集まることは確かである。
理事長: 兎に角、夏の甲子園秋田県予選優勝又は春の選抜高校野球出場が果たさないまでも、それぞれの大会でベスト4以上の実績を残



(上) 3/29に東京板橋区で開催された城西大付属高校との練習試合で村上会長の激励を受ける鳳鳴野球部員。胸の鳳鳴の文字を次は甲子園で見たい。(下) H19年夏の県大会。優勝候補秋田高校との対戦中、ホームインする鳳鳴選手。

していれば、寄付は容易に集まると予想される。
菊地: 素質ある野球中学生の入学勧誘はどうなっているのか。
理事長: これは大変難しい問題である。勧誘しても「入学保証」が出来ないことがあり、頭の痛い問題。
菊地: 向こう3年間位で甲子園出場への可能性は。
監督、理事長: 兎に角、一生懸命頑張る決意でいる。秋田県内でベスト4をキープしていれば必ずチャンスは掴めるはずである。夏の大会は昨年と違って今年からシード校は「4校から8校」になったので、ここに喰い込んでいればチャンスはもっと大きく広がる。

最後に石川栗盛、阿部パネラーの各氏より、甲子園出場の熱い期待と、理事長、監督へのご奮闘を期待したエールが送られた。引き続き熱心な質疑応答が行われ、シンポジウムは終了した。
 この後、会場を換えて開かれた懇親会ではパネラー全員が参加し賑やかで楽しい談笑が続いた。

「首都圏20期」会のお知らせ

我等20期が卒業して40年です。昨年度の「東京鳳鳴会」総会をきっかけにして、東京渋谷「秋田」に隔月で集まっては昔の噂話を肴にして親睦会を開いています。気軽に参加して下さい。

「秋田」の在り処

渋谷区道玄坂2-19-3

電話03(3770)1297

「首都圏20期」

会長 佐藤茂樹

幹事 伊藤公泰 小笠原雅夫

木村幹雄 熊谷良次郎

鈴木均

《これまで「秋田」に駆けつけてくれた20期の仲間たち》

伊藤公泰 岩川千秋

岩川憲文 小笠原雅夫

木村幹雄 工藤博

熊谷良次郎 小林 進

斎藤あけみ (旧姓石田)

佐藤茂樹

志田恵子 (旧姓福田)

柴田満 鈴木 均

武石栄太郎 奈良修二

畠山省四朗 福岡 悟

本多正博

山村秀子 (旧姓船木)

湯瀬貞司 吉田清治

渡辺千寿

渡辺ヒサ (旧姓浜田)